

鉈屋町
町内会だより

5月8日
資源回収

大型連休最終日となる5月8日の日曜日、町内の資源回収が行われました。



もうおなじみになった感のある缶の袋ですが、回収日の前に、アリスさんからお借りするのことにしました。

不定期発行
発行者
鉈屋町町内会
編集 / 文責 / 撮影
桂 汎用工房
脇田 桂一郎
印刷
小松総合印刷
株式会社



これらを、あらかじめ3ヶ所の回収場所に配布し、トラックが来る前に空缶を袋の中に移しておくことで、回収がすばやく行えます。

年度末を挟んだせいか、今回もダンボールは多いです。



また今回から、川市さんの新しい軽トラックが登場し、早速活躍していました。



回収業者がアリスさんになり、これまでの作業の流れが変わってきて、ちょっとした混乱もありましたが、いろいろな工夫などで新しい方法が定着してきたように思えます。お手伝いいただいた皆様、お疲れ様でした。

今回の資源回収は、7月10日 日曜日になります。ご協力をお願いいたします。

北上川 舟運川開き

盛岡地区かわまちづくり(舟運)実行委員会の主催による「舟運川開き」が、5月14日に行われました。

昨年の開港に続いて、開運橋近くの「もりおか港」と、明治橋上流の「新山河岸」を「もりおか丸」が運航しました。

もりおか港では安全祈願の神事が行われた後、盛岡市と、北上川に舟つこを運航する盛岡の会との間に「災害時における船舶等の貸与に関する協定」の締結が行われました。



締結の後、あいさつする舟つこの会の村井軍一会長と、谷藤盛岡市長。

この協定は水害等の災害発生時に、舟つこの会が所有する舟を市に貸与し、救助に使えるようにするものです。

第1便の出港が近づきます。



救命胴衣や落水時等の説明を受ける乗客の方々。

今回は知床の事故直後でもあり、安全に関してはいつも以上に気が配られました。

明治橋のもと、新山河岸へ到着しました、盛岡まち並み塾の方々の出迎えと、鉾屋町・大慈寺地区の案内が行われます。



三岳亭では「いずみや」の皆さんのおもてなしや、懐かしの駄菓子屋おもちやコーナーなどが設けられました。



この駄菓子の台は、肴町の繁田園にあったものだそうです。

また消防団第2分団によって、消防番屋の火の見櫓見学や、製作途中の山車の展示、以前の秋祭りのビデオ上映も行われました。

舟つこの会によると、今年は月1〜2回の運航を目指していきたいとのこと。



火の見櫓から見る、鉾屋町の町並み。



浜藤ブックマーケット 2022

恒例となっていた「浜藤古本市」が、新たに「浜藤ブックマーケット」という、本を通じた交流の場づくりを目的としたイベントの一環として開催されることになり、もりおか町家物語館で5月21・22日に行われました。



浜藤ホールでの古本市。今回は「こどもに読ませたい本」というテーマが設定されています。とっっても子ども向けばかりの本だけではなく、大人でも楽しめます。

2日目の日曜日は、雨にもかかわらず多くの人が訪れていました。



そして、3・11絵本プロジェクトもりおか、盛岡児童文学研究会さんによる「絵本の読み聞かせ会」が、午前午後の2回行われ、親子連れの方々をはじめとして、様々な世代の方が集まりました。
定番の絵本から、装丁の美しい本、歌や踊りも伴ったものなどもあり、飽きることなく聞き入ってしまいます。

個人的には、絶版本や倒産した出版社の本を見つけてしまい、結局7冊購入しました。

会場で、私が大好きな絵本である、ガース・ウイリアムズの「しろいうさぎとくろいうさぎ」を買っていらつしやる方がいたのが、ちよつと嬉しかったです。



もりおか町家物語館 運営協議会

もりおか町家物語館には「運営協議会委員」というものがあります。館外部の人を委員に委嘱し、町家物語館の運営に関して、様々な意見を募ることを目的としています。

私も今年4月から委員を委嘱され、5月31日、初回となる「令和4年度もりおか町家物語館第1回経営企画会議及び運営協議会合同委員会」(長い...)に出席してまいりました。

前年度の実績、今年度の事業予定などから始まり、令和3年度決算・令和4年度予算の報告が行われます。

町家物語館としては、地元密着型の事業を強化していくと共に、ポストコロナ・ウィズコロナを見据えた、さらなる観光客の増加にも努力される方向のようです。

その後、各委員からの意見・質問などが続きます。委員の一人である石岡町内会長からは、舟つこ流し製作への協力などが提案されました。

編集後記に代えて 安全に関する話

5月29日、お隣の神子田町町内会で防災訓練が行われました。消防団第2分団が講師を務め、私も同行いたしました。

最近増加の傾向にある「電気火災」に関するDVDを視聴した後、岡田分団長による講義がありました。



その後、神子田さくら公園へと移動し、訓練用消火器による消火器の使用訓練を行いました。突然の火災に備えて、消火器はどこにあるか?の再確認、消火器はどんな重さなのか?を、

実際に消火器を持ち上げてみて確かめるなど、家庭でもできることはあります。

また現在は、全ての住宅で「家庭用火災報知器」の設置が義務付けられています。ご確認をお願いいたします。

北上川の舟運は、お客を乗せる運航と並行して、安全に関する取り組みを行っています。

5月28日には船舶免許保持者・運航関係者による安全研修会が行われました。

法律で定められた小型船舶用法定備品の点検と、使用方法の再確認。



川へ出て、アンカー(錨)による停船や、エンジン停止時における、オールや櫂かいによる川岸への着岸訓練などを実施しました。



また船頭はガイドとしての役目もあるため、新山河岸から川原町・鉾屋町を、詳しい人の解説を聞きつつ歩き、地域の情報を学んでいました。(桂)

